

対応素材

窯業系サイディング目地

試験結果

【アステックシール高耐候4000】JIS A 5758 建築用シーリング材 F12.5E-8020 合格 ※社内試験による
【アステックシール2000】JIS A 5758 建築用シーリング材 F12.5E-8020 合格

標準施工仕様

【アステックシール高耐候4000/2000
カートリッジ320mlあたりの施工メーター(m)】※ロス率20%

	目地深さ (mm)	目地幅 (mm)			
		8	10	12	15
目地深さ (mm)	5	6.4	-	-	-
	6	5.3	4.2	-	-
	8	4.0	3.2	2.6	-
	10	3.2	2.5	2.1	1.7

【アステックシール高耐候4000/2000
4Lあたりの施工メーター(m)】※ロス率20%

	目地深さ (mm)	目地幅 (mm)			
		8	10	12	15
目地深さ (mm)	5	80.0	-	-	-
	6	66.6	53.3	-	-
	8	50.0	40.0	33.3	-
	10	40.0	32.0	26.6	21.3

【アステックシール専用プライマー
150mlあたりの施工メーター(m)】
※ロス率30%

	目地深さ (mm)			
	5	6	8	10
目地深さ (mm)	50.0	41.7	31.3	25.0

使用方法

【アステックシール高耐候4000/2000 カートリッジタイプ】

- ノズルを目地幅に合わせて切り、太い針金等でノズルの防湿膜を突き破ってください。
- 被着面は十分に清掃乾燥してください。

【アステックシール高耐候4000/2000 ベール缶タイプ】

- 被着面は十分に清掃乾燥してください。
- 缶壁のアルミ箔に沿ってカッターナイフを入れて、アルミ箔を取除いてください。
- 薄皮状の硬化物があれば、ヘラ等で取除いてください。

注意事項

- 降雨、降雪時の施工は避けてください。
- 下地が濡れている場合は施工を避けて十分に乾燥していることを確認の上施工してください。

【専用プライマー】

- 指定の専用プライマーを使用してください。
- 火気厳禁(第四類第一石油類)ですので高温になる車中等に放置しないでください。
- 小分けして使用してください。
- 使用時以外は、容器のフタを閉じて置いてください。
- ハケは直接缶に入れないでください。
- 使用後残プライマーの再使用は避けてください。
- ピンホール、かすれ、塗り残しがないように丁寧に片面ずつ塗布してください。
(特に縦目地の場合、右被着面をより丁寧に塗布してください。)
- ハケは、目地幅に合ったものを使用してください。
- サイディング切断面は、かすれないように丁寧に必ず2度塗りを行ってください。
- 専用プライマー塗布後、8時間以内にシーリング材を施工しない場合は、
専用プライマーを再塗布した後シーリング材を充填してください

【シーリング材】

- 薄く施工することは避けてください。短期で白化現象を生じます。
- カートリッジを使用する場合、保存状態や期間によっては容器内で黄変することがありますが、
性能に影響ありません。
- ベール缶を使用する場合、缶内に薄皮状の硬化物があればヘラ等で取除いてください。
- 所定の用途以外には使用しないでください。
- 塗装はシーリング材表面が硬化して、ローラー塗布等に耐えうる被膜が形成されて7日以内に施工してください。他社の塗料では、ベタツキ・割れ・ハジキが発生する可能性があります。

製品データ

アステックシール高耐候4000	
荷姿	320ml/本、4L/缶
色	【カートリッジ】 ホワイト(25-90B近似色)、アイボリー(21-80D近似色)、 ベージュ(21-70D近似色)、ブラウン(05-30B近似色)、 グレー(N-40近似色) 【ベール缶】 ホワイト(N-93近似色)、アイボリー(21-80D近似色)、 ベージュ(21-70D近似色)、ブラウン(05-30B近似色)、 グレー(N-40近似色)
工程間	夏場:2日以上7日以内、冬場:3日以上7日以内
施工目安	※ベール缶のみ A…1~5月、10~12月 B…5~10月
可使時間	※ベール缶のみ A…2時間(23℃) B…2時間(35℃)
アステックシール2000	
荷姿	320ml/本、4L/缶
色	【カートリッジ】 ホワイト(25-90B近似色)、アイボリー(21-80D近似色)、 ベージュ(21-70D近似色)、ブラウン(05-30B近似色)、 グレー(N-40近似色) 【ベール缶】 ホワイト(N-90近似色)、アイボリー(21-80D近似色)、 ベージュ(21-70D近似色)、ブラウン(05-30B近似色)、 グレー(N-40近似色)
工程間	夏場:2日以上7日以内、冬場:3日以上7日以内
施工目安	※ベール缶のみ A…1~5月、10~12月 B…5~10月
可使時間	※ベール缶のみ A…2~4時間(25℃) B…2~3時間(25℃)、1時間(35℃)
アステックシール専用プライマー	
荷姿	150ml/缶
乾燥時間 (目安)	5℃:60分以上 20℃:30分以上 35℃:30分以上

●製品については下記までお問い合わせください。

ver.202410



製造・販売元 株式会社アステックペイント

〒812-0013
本社 福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1-9F

astecpaints.jp



より質の高い塗装には、
塗料と相性の良いシーリング材を

ASTECSEAL

窯業系サイディング住宅 目地専用

アステックシール高耐候4000/アステックシール2000

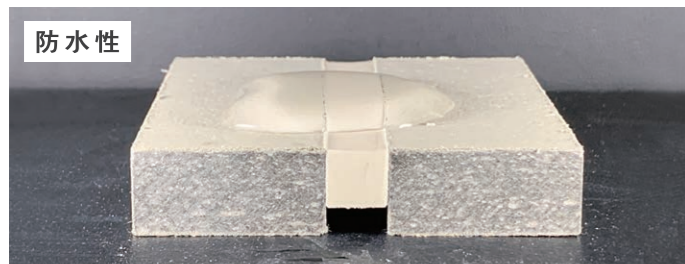
一成分形変成シリコン系シーリング材(ノンブリードタイプ)

アステックシールシリーズは、アステックペイントの塗料との相性が良く、先打ち工法で発生しやすい塗膜の剥離や目地の汚染などを抑制します。

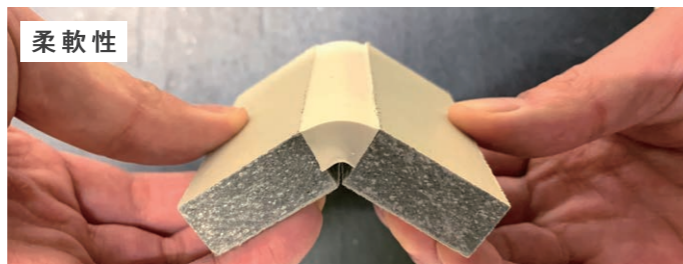
ASTECS SEAL



シーリング材は防水性と柔軟性で、目地からの水の浸入を防ぎ、家を守ります。



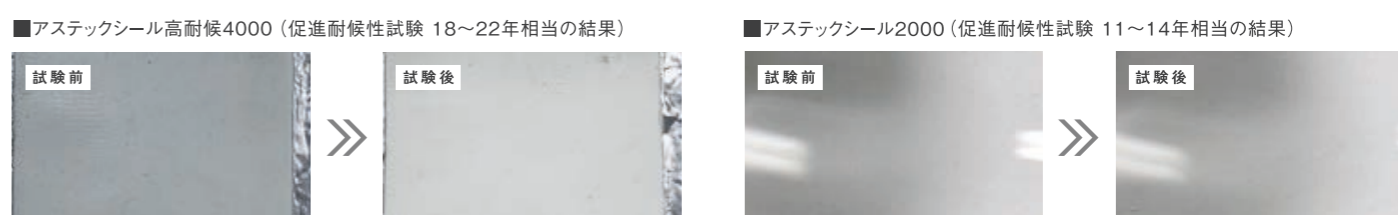
防水性
 外壁材の隙間をしっかりと埋めることで家の劣化の要因となる、目地からの水の浸入を抑制します。



柔軟性
 振動や気温・湿度による外壁材の収縮（目地幅の変動）に追随することで、防水性を損なうシーリング材のひび割れや破断の発生を抑制します。

家を守り、美観を維持する
 アステックシールシリーズの3つの性能

耐候性 防水性が長持ち（劣化要因の紫外線・雨・熱に対して高い耐候性を発揮）



■アステックシール高耐候4000（促進耐候性試験 18～22年相当の結果）
 ■アステックシール2000（促進耐候性試験 11～14年相当の結果）
 促進耐候性試験において、試験後もシーリング材表面にひび割れ等の劣化症状が生じませんでした。アステックシール高耐候4000は18～22年、アステックシール2000は11～14年相当の耐候性が確認されました。
 ※あくまで試験環境下における実測値であり、耐候性を保証するものではありません。実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により耐候性は異なる場合があります。

変成シリコン系のシーリング材は塗装の耐候性の維持に最適

変成シリコン系	変成シリコン系シーリング材は耐候性・柔軟性に優れており、外壁塗装においてよく採用されています。シーリング材の上の塗膜にひび割れが発生しても劣化しにくい耐候性が特徴です。
----------------	--

シーリング材の劣化症状 このような症状が発生している場合、家の劣化に繋がる可能性があるため、早めのシーリング材の打ち替えをおすすめします。



【シーリング材の2つの工法】

① 先打ち工法
 塗装前にシーリング材を目地部に施工する工法。塗膜がシーリング材を保護するため、紫外線・雨・熱の影響を受けにくく防水性や柔軟性が長持ちし、長期的に家を守ります。
 ※塗膜にひび割れが生じる場合があります。

② 後打ち工法
 塗装後にシーリング材を目地部に施工する工法。塗膜が表面を覆っていないため、塗膜のひび割れやブリード現象が発生することがなく美観を長期的に維持します。
 ※実際の自然ばく露環境により耐候年数が前後することや、汚染が生じる場合があります。

多くの現場で採用されている**①先打ち工法**でシーリング材を施工する際に重要なのは、塗料との相性です。相性が悪いと、塗膜の剥離や汚染などが生じることもあります。一日でも長く家を守り、美観を維持するためには使用する塗料と相性の良いシーリング材を使用することが重要です。

アステックシールシリーズは、アステックペイントの全ての塗料に対して付着性・汚染性に関する適合性の試験をクリアしています。 ※2022年11月現在の全製品

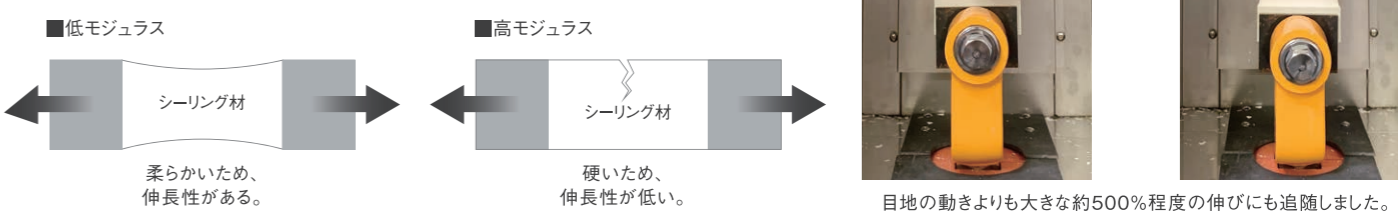
付着性試験
 塗料を塗布した各種下地に基盤目状の切れ込みを入れ、テープを貼って剥がす試験。テープを剥がした後も、塗膜の剥がれが見られなければシーリング材と塗料の相性が良いと言えます。
 ※アステックペイントの全ての塗料で剥がれは見られませんでした。
 ※上塗料との付着性を維持するためには、各種塗料の施行仕様に従って下塗りが必要となります。

相性が悪い場合 塗膜が剥がれます	超低汚染 リファインシリーズ	EC-5000PCIM-IR	シリコンREVO1000

アステックシールはシーリング材の「防水性能」を最大限に発揮させるために開発されたアステックペイント推奨のシーリング材です。

低モジュラス サイディングの動きに合わせて追随

モジュラスとは、弾性のあるものに引っ張り力や圧縮力が加わった時に、元に戻ろうとする力のことです。サイディングは温度変化で膨張・収縮するため、動きに合わせて伸びたり縮んだりしやすい低モジュラスのシーリング材が最適で、目地からの剥離や破断を抑制できます。



ノンブリード 先打ち工法でも塗膜上の汚れの発生を抑制

ブリードとは、シーリング材に柔軟性を出すために配合された可塑性剤が漏出することで、塗料にベタつきが発生する現象です。ブリード部分にゴミやホコリが付着することで、塗膜表面に汚れが生じ、美観を損ないます。ノンブリードタイプの場合、可塑性剤が漏出しにくく柔軟性の維持だけでなく、美観の維持にも繋がります。

※実際の自然ばく露環境下では、下地の状態、施工方法、気象条件により各性能は異なる場合があります。

